

令和5年度

横浜市立田奈小学校

令和5年10月2日



学校だより

10月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人



150周年キャラクター
もち TaNa くん

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

メッセージがいっぱい ～ 記念誌を読み返して感じたこと ～

校長 大原 敦子

暑い暑い今年の夏も、やっと終わりが見えてきました。田んぼは黄金色に染まり、夕焼け空に美しく稲穂が揺れています。5年生は手作りの案山子を田奈っ子水田に運び、10月17日に予定している稲刈りまでの間、大切な実りを守ってもらっています。

11月に向けて創立150周年を祝う準備も進んでいます。各学年の児童が全校に発信して進めている活動では、校内にたくさんの「もち TaNa くん」が飾られたり、職員玄関前に飾っている大きなケーキに児童の似顔絵がどんどん増えていたりしています。また、児童皆で歌う150周年記念の替え歌も完成しました。11月18日(土)の150周年記念田奈のみのりの最後に行う、児童主体の150周年記念セレモニーに向けて、着々と準備を進めています。11月11日(土)にみどりアートパークで行う大人向けの創立150周年記念式典や記念コンサート、150周年記念誌作成についても、創立150周年記念事業実行委員長の井上太市様はじめ、実行委員の皆様のご尽力により準備が佳境に入っています。田奈小学校に関わる全ての方々にとって、喜ばしい心に残るものになるよう、力を合わせていきます。



最近、私は改めて「田奈小学校創立100周年記念誌」と「田奈 創立130周年記念誌」をじっくりと読みました。特に校舎等大きな転機になっている100周年記念誌は、当時の方々の様々な思いが書かれていて興味深いものでした。その中に「児童の体位の移り変わり」というページがあり、明治・大正期と当時の記録の比較がグラフと表で掲載されています。明治45年末から現在(当時)までの62年間の体位の向上は驚くべきものがあると書かれ、そして最後に「さらに今後どのように伸びていくか興味ある問題である」と締めくくられていました。50年後の今の様子を今度調べてみようと思います。

4階建鉄筋新校舎やプールができて、とてもうれしそうに誇らしく自分の思いを書いた当時の田奈っ子の作文とともに、その陰に大正14年5月に建設された木造旧校舎が昭和46年5月「泣くような小雨の降る日」に取り壊しが始まり、たくさんの卒業生の思い出が詰まった校舎がなくなってしまった寂しさを書いた記事も掲載されていました。この木造校舎に関しては、「三室をくり抜いて(間仕切りを取って)学芸会をしたり、卒業式をしたりしたことが様々な記事に書かれていました。その当時の方々にとって、本当に思い出深い校舎だということが伝わってきました。職員玄関に飾られている「大鳳」の彫刻があった、明治24年に建造されたと言われている恩田学校の校舎も、当時の方々が何とか残そうと努力された様子が記念誌に記されていました。記念誌を読み返すことで、その時々の皆さんの思いや歴史の重みをより自分事に感じる事ができました。

昭和18年に卒業された方の話に「修学旅行は多摩丘陵と高尾山で初めての電車に乗っての旅行だったので印象に残っています」というものがありました。今の田奈小では、今月13日から4年生が高尾宿泊体験学習に行きます。4年生の子どもたちにとってもしっかりと印象に残る行事となることでしょう。田奈小の歴史の1ページを、今月もしっかりと子どもたちと共に作っていきます。今月どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ・お願い

150周年記念式典や写真展の中で、一部現在の児童の様子(写真)も取り入れることになりました。以下のように実施・活用いたします。
お子様の写真の活用を希望されない方は、連絡帳等で担任まで10月10日(火)までにご連絡ください。 よろしくお願いたします。

☆11月11日(土)みどりアートパークで実施する150周年記念式典の中でのスライド上映

また、当日みどりアートパーク・ホワイエでの写真展展示

☆11月7日(火)～9日(木)JA横浜田奈支店で行う写真展展示